

令和2年度(2020年度)

アドミッション・オフィス(AO)入試Ⅱ

学生募集要項



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

AO入試Ⅱの試験日程等一覧

学 部	学 科 ・ 課 程 等			募集 人員 (人)	出願情報の 登録期間	検定料の支払 期間及び出願 書類の提出期間	試験期日	2段階選抜に 係る第1段階 選抜の結果発表	合格者 発 表	入学手続 期 間	出願要件等及び 選抜方法		
法文学部	人文 社会 学科	「 昼 間 主 コ ー ス 」			35	11月25日 ＼ 12月13日	12月 9 日 ＼ 12月13日	2 月 2 日			15ページ参照		
		「 夜 間 主 コ ー ス 」			10								
教育学部	学校教育 教員養成 課 程	初等 教育 コース	小学校 サ ブ コース	AOⅡ A (出願要件参照)	12	10月18日 ＼ 11月 7 日	11月 1 日 ＼ 11月 7 日	11月24日	12月 6 日	2 月 7 日	2 月12日 ＼ 2 月14日	19ページ参照	
				AOⅡ B (出願要件参照)	6								
		中等 教育 コース	国語教育専攻										4
			社会科教育専攻										
			英語教育専攻										
			数学教育専攻										
			理科教育専攻										
			技術教育専攻										
			保健体育専攻										
			家政教育専攻										
			音楽教育専攻										7
		美術教育専攻			(3)								
		特別支援教育コース			8								
社会共創 学 部	産業マネジメント学科			AOⅡ A (出願要件参照)	5	11月25日 ＼ 12月13日	12月 9 日 ＼ 12月13日	2 月 1 日			30ページ参照		
				AOⅡ B (出願要件参照)	7								
				AOⅡ C (出願要件参照)	5								
農 学 部	食料生産 学 科	知 能 的 食 料 生 産 科 学 特 別 コ ー ス			7						34ページ参照		
	生命機能 学 科	健 康 機 能 栄 養 科 学 特 別 コ ー ス			7								
	生物環境 学 科	水 環 境 再 生 科 学 特 別 コ ー ス			5								

注 教育学部学校教育教員養成課程 中等教育コースの表中の（ ）の数は、各専攻の合格予定者数を示しています。

出願方法は、インターネット出願のみとなります。

志願者がパソコン等インターネット環境を持たない場合でも、保護者等の所有する端末や、公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用するなどの方法で出願は可能です。

また、出願情報の登録期間内の平日 9 時から17時まで入試課窓口に出願用のパソコンを用意していますので、利用を希望する場合は事前に教育学生支援部入試課にご相談ください。

上記のいずれの方法によってもインターネット環境が利用できない場合は、教育学部志願者は令和元年10月17日(木)まで、法文学部、社会共創学部及び農学部志願者は令和元年11月21日(木)までに教育学生支援部入試課(〒790-8577 松山市文京町3番 電話 089-927-9172)までご相談ください。

目 次

教育学部の改組について

1	AO入試Ⅱの概要	1
2	募集人員	1
3	出願要件	2
4	出願方法及び出願手続	
(1)	出願方法（インターネット出願）	3
(2)	出願受付期間	3
(3)	出願書類の送付先	4
(4)	出願手順、支払方法、出願書類	5
(5)	出願書類入力上の注意	10
(6)	受験票等の発送	14
(7)	検定料の返還	14
(8)	注意事項	14
5	概要、選抜方法等	
	法文学部 人文社会学科「昼間主コース」	15
	〃 「夜間主コース」	
	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース AOⅡ A	19
	〃	AOⅡ B
	〃 中等教育コース 国語教育専攻	
		社会科教育専攻
		英語教育専攻
		数学教育専攻
		理科教育専攻
		技術教育専攻
		保健体育専攻
		家政教育専攻
		音楽教育専攻
		美術教育専攻
	〃 特別支援教育コース	
	社会共創学部 産業マネジメント学科 AOⅡ A	30
	〃 AOⅡ B	
	〃 AOⅡ C	
	農学部 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース	34
	生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース	
	生物環境学科 水環境再生科学特別コース	
6	試験期日及び試験時間	40
7	合否判定基準	41
8	合格者発表等	42
9	留意事項	42
10	合理的配慮を希望する入学志願者の出願	43
11	入学手続及び初年度の諸経費	44
12	試験場・試験場案内・交通機関案内	46
13	入学試験個人成績及び調査書の開示	49
14	個人情報の取扱い	49
15	入学試験の照会方法	50
16	資料	51
	愛媛大学入試情報サービス	55

教育学部の改組について（令和２年４月改組）

愛媛大学は、下記のとおり、令和２年４月に教育学部を改組します。教育学部は、学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程を改組し、学校教育教員養成課程の１課程になります。

記

教育学部の改組（令和２年度）

（改組前）

課程・コース・専攻				
学校教育教員養成課程	初等教育	幼年教育サブコース		
	コ ー ス	小学校サブコース		
	中等教育 コ ー ス	言語・社会 教 育 系	国語教育専攻	
			社会科教育専攻	
			英語教育専攻	
		自然科学系	数学教育専攻	
			理科教育専攻	
			技術教育専攻	
		芸術・生活 健 康 系	音楽教育専攻	
			美術教育専攻	
			保健体育専攻	
	家政教育専攻			
特別支援教育教員養成課程				



（改組後）

課程・コース・専攻		
学校教育教員養成課程	初等教育	幼年教育サブコース
	コ ー ス	小学校サブコース
	中等教育 コ ー ス	国語教育専攻
		社会科教育専攻
		英語教育専攻
		数学教育専攻
		理科教育専攻
		技術教育専攻
		音楽教育専攻
		美術教育専攻
		保健体育専攻
		家政教育専攻
特別支援教育コース		

1 AO入試Ⅱの概要

AO入試Ⅱは、大学入試センター試験を課すアドミッション・オフィス入試です。

入学者選抜において、入学定員の一部について、書類審査、実技検査、面接、グループディスカッション及び大学入試センター試験の成績により合格者を決定します。

(注) 学部等により選抜方法が異なりますので、15ページから39ページを参照してください。

2 募 集 人 員

学 部	学 科 ・ 課 程 等		募集人員 (人)	備 考
法 文 学 部	人文社会学科	「 昼 間 主 コ ー ス 」	35	
		「 夜 間 主 コ ー ス 」	10	
教 育 学 部	初等教育コース 小学校サブコース	AOⅡ A	12	普通科又は理数に関する学科等対象
		AOⅡ B	6	専門教育を主とする学科又は総合学科対象
	学 校 教 育 教 員 養 成 課 中 等 教 育 コ ー ス	国語教育専攻	4	
		社会科教育専攻		
		英語教育専攻		
		数学教育専攻		
		理科教育専攻		
		技術教育専攻		
		保健体育専攻		
		家政教育専攻		
		音楽教育専攻	7	(4)
		美術教育専攻		(3)
	特 別 支 援 教 育 コ ー ス		8	
社会共創学部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	AOⅡ A	5	普通科又は理数に関する学科等対象
		AOⅡ B	7	専門教育を主とする学科対象
		AOⅡ C	5	総合学科対象
農 学 部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース	7	
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース	7	
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース	5	

注 教育学部学校教育教員養成課程 中等教育コースの表中の（ ）の数は、各専攻の合格予定者数を示しています。

3 出 願 要 件

「高等学校」には、「中等教育学校」を含みます。(以下同じ。)

学部		学 科 ・ 課 程 等		出 願 要 件
法 文 学 部	人 文 社 会 学 科	「昼間主コース」 「夜間主コース」		次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者(※) ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 本学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学部への志望動機が明確な者
		AOⅡA		高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者で、合格した場合は入学を確約できるもの
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 教 育 コ ー ス 小 学 校 サブコース	AOⅡB	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校の専門教育を主とする学科(理数に関する学科等を除く。)又は総合学科を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者(※)
			中 等 教 育 コ ー ス 国 語 教 育 専 攻 社 会 科 教 育 専 攻 英 語 教 育 専 攻 数 学 教 育 専 攻 理 科 教 育 専 攻 技 術 教 育 専 攻 保 健 体 育 専 攻 家 政 教 育 専 攻 音 楽 教 育 専 攻 美 術 教 育 専 攻	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者(※)
		特別支援教育コース		
		特別支援教育コース		
社 会 共 創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	AOⅡA		次の(1)から(3)までの条件を全て満たす者 (1) 高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者 (3) 本学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学科への志望動機が明確な者
		AOⅡB		次の(1)から(3)までの条件を全て満たす者 (1) 高等学校の専門教育を主とする学科(理数に関する学科等を除く。)を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者 (3) 本学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学科への志望動機が明確な者
		AOⅡC		次の(1)から(3)までの条件を全て満たす者 (1) 高等学校の総合学科を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者 (3) 本学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学科への志望動機が明確な者
農 学 部	食 料 生 産 学 科	知 能 的 食 料 生 産 科 学 特 別 コ ー ス		次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者(※) ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 志望学科及び志望特別コースのアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、志望動機が明確な者
	生 命 機 能 学 科	健 康 機 能 栄 養 科 学 特 別 コ ー ス		
	生 物 環 境 学 科	水 環 境 再 生 科 学 特 別 コ ー ス		

注 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)は、15ページからの「5 概要、選抜方法等」をご覧ください。
* 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和元年10月18日(金)まで(教育学部志願者については令和元年10月2日(水)まで)に必要書類を添えて申請してください。(入学資格審査の詳細については、本学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual/>))で公表しています。)なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学部学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

4 出願方法及び出願手続

(1) 出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

以下の方法により、出願手続をしてください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の入力
- ③ 検定料の支払＊
- ④ 出願書類の郵送

これらの詳細な手続きについては、5 ページから14ページを確認してください。

＊検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
- (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

＊免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページをご覧ください。(https://www.ehime-u.ac.jp/post-94204/)

(2) 出願受付期間

教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	小学校サブコース
		中等教育コース	国語教育専攻、社会科教育専攻、 英語教育専攻、数学教育専攻、 理科教育専攻、技術教育専攻、 保健体育専攻、家政教育専攻、 音楽教育専攻、美術教育専攻
		特別支援教育コース	

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

法 文 学 部	人文社会学科「昼間主コース」,「夜間主コース」
社会共創学部	産業マネジメント学科
農 学 部	食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース
	生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース
	生物環境学科 水環境再生科学特別コース

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月 9 日(月) 0 時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月 9 日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(3) 出願書類の送付先

出願書類の送付方法については、7 ページ「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

学 部	送 付 先	所 在 地	電 話
法 文 学 部	法 文 学 部 入 試 係	〒790-8577 松山市文京町 3 番	089-927-9221
教 育 学 部	教 育 学 部 入 試 係	〒790-8577 松山市文京町 3 番	089-927-9377
社会共創学部	社会共創学部入試係	〒790-8577 松山市文京町 3 番	089-927-9019
農 学 部	農 学 部 入 試 係	〒790-8566 松山市樽味 3 丁目 5 番 7 号	089-946-9648

(4) 出願手順, 支払方法, 出願書類

1) 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP6）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows : Internet Explorer 11.x Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン) MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 10.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定 : JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件 : インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問合せください。
- ・スマートフォン、タブレット端末を使用する場合、PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

8ページの「2）支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG形式、3MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、9ページの「3）出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）〕及び受験票等返信用〔長形3号封筒（12cm×23.5cm）〕の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は、9ページの「3）出願書類」で確認してください。

STEP1 愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願

https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



四国国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

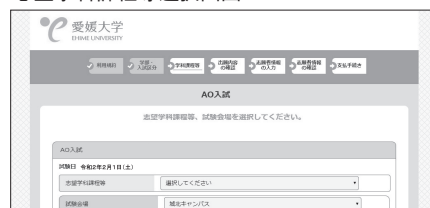
STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、「愛媛大学」を選択後、画面に沿って出願先、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



STEP4 出願書類の作成（学部により種類が異なります。）

10ページ「(5) 出願書類入力上の注意」をよく読んで入力してください。

法文学部：「志望理由書」

教育学部：「活動報告書」、「志望理由書」、「自己推薦書」

社会共創学部：「活動報告書」、「志望理由書」

農学部：「志望理由書」

STEP5 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。

確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。これ以降は修正できません。

STEP6 検定料の支払

◆教育学部

令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時

◆法文学部・社会共創学部・農学部

令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は8ページ「2」支払方法)を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例)コンビニエンスストアを選択した場合の画面

支払い内容

ファミリーマートでのお支払い FamilyMart

お支払い金額 10,000円

第1番号(企業コード) XXXXX

第2番号(注文番号) XXXXXXXXXXXX

お支払い情報送信 100000 @ xxx.xxx.jp 送信

支払い手順

1. このページを印刷、または「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」を正確にメモしてください。
2. ファミリーマート店舗の「FamilyMart」のトップメニューから「現金支払い」→「振替発行」を選択し、「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」の順に入力してください。
3. 発着された「FamilyMart申込書」をレジで提示し、支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後に届く「インターネット出願支払完了メール」記載のURL、又はインターネット出願サイトログイン画面の出願履歴のいずれかからアクセスして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、9ページ「3」出願書類)を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力が完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

2) 支払方法

検定料：17,000円（法文学部「夜間主コース」は10,000円）

※別途、手数料が550円かかります。

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限りです）。

それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は14ページの「(7) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時（教育学部） 令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時（法文学部・社会共創学部・農学部）	
• Visa • Master Card • JCB • Amex • Diners	これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ （カードの利用限度額を確認した上で利用してください。）     

コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時（教育学部） 令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時（法文学部・社会共創学部・農学部） 「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
• セブンイレブン 	レジで「インターネットショッピング代金の支払い」と伝えて手続後、現金支払
• ローソン • ミニストップ  	「Loppi」で手続後、レジで現金支払
• ファミリーマート 	「Famiポート」で手続後、レジで現金支払
• デイリーヤマザキ • ヤマザキデイリーストア  	レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
• セイコーマート 	「クラブステーション」で手続後、レジで現金支払

Pay-easy（ペイジー）（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時（教育学部） 令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時（法文学部・社会共創学部・農学部） 「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。	
• 金融機関ATM 対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 	
• インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可	

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。

最新情報は、出願サイトで確認してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ

出願操作サポート窓口（コールセンター）

受付期間：出願受付期間中

受付時間：平日午前9時～午後5時（土日・祝日・年末年始を除く）

電話番号：075-211-6556（運営会社：京都電子計算株式会社）

3) 出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

使用する封筒については、7 ページ「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

印刷後、誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

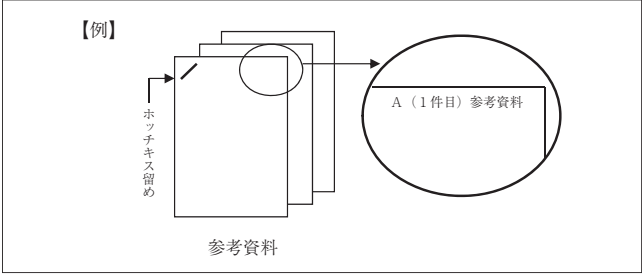
書 類 等	摘 要	送付を要する者
インターネット 出 願 票	出願サイトからダウンロードし、A 4 サイズで片面印刷したもの 法文学部、社会共創学部、農学部に出願する者は、所定の箇所に「令和 2 センター試験成績請求票[AO]国公立AO入試用」を必ず貼ってください。 出願書類提出時に、成績請求票（センター試験受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と朱書きして出願してください。 なお、成績請求票は到着次第速やかに、4 ページ「(3) 出願書類の送付先」へ持参又は郵送（速達・簡易書留郵便）してください。 教育学部にあつては、出願時に「令和 2 センター試験成績請求票[AO]国公立AO入試用」を貼る必要はありません。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	全 員
調 査 書	所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの（注 1，注 2） 高等学校等を卒業した者で、高等学校等の保存期間の経過により調査書の提出ができない場合は、「卒業証明書」、「成績証明書」（又は「単位取得証明書」）及び「活動調査」（活動調査は、法文学部・農学部志望者のみ。下記参照）を調査書の代わりに提出してください。 なお、成績証明書（又は単位取得証明書）を提出できない場合は、高等学校等が作成した「成績証明書（又は単位取得証明書）が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。	全 員
活 動 調 査 書	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/ ）からダウンロードし、A 4 サイズで片面印刷後、本人が必要事項を記入したもの。	法文学部・農学部志望者のうち、調査書が提出できない者
教 育 学 部 実 技 検 査 票	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/ ）又は出願サイトからダウンロードし A 4 サイズで片面印刷後、必要事項を記入したもの。 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース音楽教育専攻を志望する者
志 望 理 由 書	出願サイトからダウンロードし、A 4 サイズで片面印刷したもの。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は、10 ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	全 員
活 動 報 告 書 (A・B・C)	出願サイトからダウンロードし、A 4 サイズで片面印刷したもの。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 活動報告書 A・B・C のうち 1 種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1 件目、2 件目、3 件目）・B・C をすべて（合計 5 枚）郵送してください。 詳細は、10 ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	教育学部 社会共創学部 志願者
自 己 推 薦 書	出願サイトからダウンロードし、A 4 サイズで片面印刷したもの。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は、10 ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	教育学部 志願者のみ
志 願 者 評 価 書	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/ ）からダウンロードし、A 4 サイズで両面印刷した用紙に、 <u>出身学校長又は志願者を良く知る教員が作成し、厳封したもの</u>	農学部 志願者のみ

書 類 等	摘 要	送付を要する者
参 考 資 料 等	〔法文学部〕 「志望理由書」の入力内容の説明に必要と思われる資料等（任意） 〔教育学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足，アピールする資料（任意） 「活動報告書」Bの入力内容を補足，アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格，検定等の合格証書，認定書，スコアシート等のコピー（必須） 〔社会共創学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足，アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格，検定等の合格証書，認定書，スコアシート等のコピー（必須） 詳細は下記の「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	法文学部 教育学部 社会共創学部 志願者
返 信 用 封 筒 (受験票送付用)	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に，出願サイトからダウンロードし，A4サイズで片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後，ダウンロードできるようになります。 384円分の郵便切手を必ず貼ってください。	全 員
返 信 用 封 筒 (第1段階選抜結果通知送付用)	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に，出願サイトからダウンロードし，A4サイズで片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後，ダウンロードできるようになります。 704円分の切手を必ず貼ってください。	教育学部 志願者のみ

- 注1 法文学部志願者は，「指導上参考となる諸事項」の記載内容等の説明に欠かせないと思われる資料等があれば，提出してください。必要に応じて，それを面接において活用することがあります。なお，資料等はA4サイズ用の紙2枚以内（片面印刷）にまとめたものを，必ず調査書の封筒に同封してください。
- 注2 教育学部志願者及び社会共創学部志願者は，「指導上参考となる諸事項」の「(5)その他」の欄には，出身（在籍）学校又はその学科の特性を生かした学習の成果や，高大連携活動等による成果があれば記入してください。
- 注3 出願後，住所（志願者連絡先）等が変わった場合は，速やかに志願学部入試係まで連絡してください。
- 注4 インターネット出願票等提出後は，いかなる理由があっても記載内容の変更は認められませんので，インターネット出願情報入力の際は，該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。
また，出願書類は返還しません。
- 注5 出願書類等が外国語で作成されている場合は，日本語訳も添付してください。

(5) 出願書類入力上の注意

学 部 等	書 類	注 意 点 等
法文学部 「昼間主コース」 「夜間主コース」	志望理由書	以下の①～③について入力してください。 面接に際しては，本学部のアドミッション・ポリシーに照らしつつ，この志望理由書を活用します。そのことに留意しながら入力してください。 ① 関心の所在（300字まで） 自分は何に関心をもっているのかを，大学で学ぼうと思うことがらと関連させながら，具体的に入力してください。 ② 志望動機（300字まで） ①を追求するにあたって，どうして本学部を希望するのかを，具体的に入力してください。 ③ 自己アピール（300字まで） あなたが特に訴えたい自分の特性，余人にはできない貴重な体験，これだけは他人に負けないと思うこと等，本学部で学ぶにあたって活かしたいことがらを具体的に入力してください。 ※志望理由書の入力内容の説明に必要と思われる資料等があれば，出願時に返信用封筒に同封してください。資料は，A4サイズの用紙2枚以内（片面印刷）にまとめてください。資料を試験当日に試験室に持参することは認めておりませんのでご注意ください。

学 部 等	書 類	注 意 点 等
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース 中等教育コース 国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 保健体育専攻 家政教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 特別支援教育コース	活動報告書	A, B, Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 B「課題研究等」 C「資格・検定等」 次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。 【注意事項】 - 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。 - 次の要領で参考資料を提出することができます。 - 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。 - 参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に、何を提出するかを入力してください。 - 参考資料は調査書などの書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。 - 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。 - すべての資料はA 4サイズとし、サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーをとってください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A 4用紙にコピーしてください。資料はA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。 - 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。 - 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（○件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。 【例】  B「課題研究等」 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。 【注意事項】 - 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 - 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。

学 部 等	書 類	注 意 点 等
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース 中等教育コース 国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 保健体育専攻 家政教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 特別支援教育コース	活動報告書	4. 次の要領で参考資料を提出することができます。 (1) 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。 (2) 参考資料の提出は任意です。提出する場合は、「3. 課題研究等の概要や成果」欄に何を提出するか明記してください。 (3) 参考資料は調査書などの書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。 (4) 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。 (5) すべての資料はA 4サイズとし、サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーをとってください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4用紙にコピーしてください。資料はA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。 (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。 C「資格・検定等」 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。 【注意事項】 1. 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。 2. 合格証書や認定書、スコアシート等（以下、証拠書類）が手元がない場合は入力してはいけません。 3. 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。 4. 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。 5. 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。
	志望理由書	本課程への入学を志望する理由、大学生活の目的、将来の抱負等について、志願者本人が540字以内にまとめて入力してください。
	自己推薦書	自己推薦の理由やアピールしたい事項（特技、取得資格、受賞表彰事項等）について、志願者本人が540字以内にまとめて入力してください。
社会共創学部 産業マネジメント学科	活動報告書	A, B, Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 B「課題研究等」 C「資格・検定等」 次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。 【注意事項】 1. 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 2. 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。 3. 次の要領で参考資料を提出することができます。 (1) 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。

学 部 等	書 類	注 意 点 等
社会共創学部 産業マネジメント学科	活動報告書	(2) 参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に、何を提出するかを入力してください。 (3) 参考資料は他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。 (4) 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。 (5) コピーの場合はA 4 又はA 3 サイズの用紙とします。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーを取ってください。写真などの小型のものは、A 4 サイズの用紙に貼り付けるか、A 4 サイズの用紙にコピーしてください。 (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。 (7) 参考資料は1 件目、2 件目、3 件目ごとにホッチキス留めし、1 枚目の右肩に「A (○件目) 参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。 【例】 B 「課題研究等」 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。 【注意事項】 - 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1 件について、入力してください。 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 - 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。 - 参考資料の提出が必要と判断した場合は、大学から提出を求めることがあります。その場合を除き、参考資料の提出は認められません。 C 「資格・検定等」 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。 【注意事項】 - 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3 件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4 件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。 - 合格証書や認定書、スコアシート等（以下、証拠書類）が手元がない場合は入力してはいけません。 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。 - 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

学 部 等	書 類	注 意 点 等
社会共創学部 産業マネジメント学科	志望理由書	本学科への入学を志望する理由、大学生活の目的、卒業後の抱負等を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。
農学部 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース 生物環境学科 水環境再生科学特別コース	志望理由書	本学、本学部のパンフレットやホームページなどをよく読み、志望する特別コースの教育内容やアドミッション・ポリシーを理解した上で、その特別コースを志望する理由を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。 その際、得意な教科・科目、自分の長所などの自己アピールポイントと、将来行ってみたい研究や就きたい職業に関する内容を含めて入力してください。

(6) 受験票等の発送

【教育学部】

受験票等は、令和元年11月12日(火)頃発送します。

なお、受験票等が令和元年11月18日(月)までに未着の場合は、教育学部の入試係へ連絡してください。

【法文学部、社会共創学部、農学部】

受験票等は、令和元年12月20日(金)頃発送します。

なお、受験票等が令和元年12月26日(木)までに未着の場合は、出願した学部の入試係へ連絡してください。

(7) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
電話 089-927-9074, 9077
Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(8) 注 意 事 項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、50ページ「入学試験の照会方法」の連絡先に連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 「愛媛大学受験票」と「大学入試センター受験票」は、個別学力検査受験及び入学手続並びに入学試験個人成績等開示の際に必要なので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

5 概要，選抜方法等

法 文 学 部

人文社会学科「昼間主コース」
// 「夜間主コース」

1 人文社会学科の概要

(1) 趣 旨

法文学部人文社会学科ではAO入試Ⅱを設け，以下の(2) アドミッション・ポリシーで掲げた資質を有する学生を募集し，(3) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を入学後の4年間で育成します。

AO入試Ⅱは，センター試験により受験者の基礎学力を評定するとともに，丹念な面接を通じて，受験者の多様な資質と将来性を評価するものです。

(2) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部のアドミッション・ポリシーは以下のとおりです。

（知識・理解）

- (1) 高等学校で学習する国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科などについて，高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

- (2) 物事を多面的に考察し，自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲，態度）

- (3) 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち，それを大学における勉学を通じて追求し，勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

- (4) 所与の問題について，自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

(3) ディプロマ・ポリシー（卒業時に到達する能力）

法文学部のディプロマ・ポリシーは以下のとおりです。

（知識・理解）

- (1) 幅広い教養と人文社会諸科学の基本的な知識を身につけている。

- (2) 人文社会諸科学のいずれかの分野の専門的知識と技能を身につけている。

（思考・判断）

- (3) 人間・文化・社会の在り方について，グローバル・マインドに立脚した多角的な視点から，論理的にかつ客観的に分析し考察することができる。

- (4) 課題を自ら設定し，それぞれの学問領域の研究手法に即してその解決策を考えることができる。

（興味・関心・意欲，態度）

- (5) つねに学び続け，身につけた知識・技能を活かしてグローバル化した現代社会に貢献しようとする意欲をもっている。

- (6) グローバル化した現代社会において，様々な人と協働することができる。

（技能・表現）

- (7) 必要な情報を幅広く収集し，的確に整理・分析することができる。

- (8) グローバル化した現代社会において活躍できる，的確なコミュニケーション能力をもっている。

2 出願要件

次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

① 合格した場合は入学を確約できる者

② 本学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学部への志望動機が明確な者

※ 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和元年10月18日(金)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual/>）で公表しています。）なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

3 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(2) 出願手続

詳細については、3ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

4 試験期日

令和2年2月2日(日)午前9時から

詳細については、40ページ「6 試験期日及び試験時間」を参照してください。

5 試験場

法文学部で実施します。

詳細については、令和2年2月1日(土)午前10時に法文学部試験場前（試験場の位置については46ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

6 選抜方法等

大学入試センター試験の成績、面接（口頭試問を含む。）の結果及び提出された出願書類（志望理由書、調査書）の内容から、アドミッション・オフィス方式（総合評価方式）により、志願者の能力・適性・関心・意欲等を多面的、総合的に評価します。

① 大学入試センター試験の利用教科・科目等について（「昼間主コース」「夜間主コース」共通）

大学入試センター試験の利用教科・科目名法 教科・科目の採用方法						
教科	科目名等					
国語	「国語」					1
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」					から1 (＊1)
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」					
数学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」					
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」			から2	A	
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」			から1	B 又はB	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」					から1
〔3教科3科目〕(＊1)						
◆「地理歴史, 公民」, 「数学」, 「理科」において計2科目以上を受験している場合は, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目, 「数学」, 「理科」の基礎を付した科目, 「理科」の基礎を付していない科目(2科目を受験している場合は, 第1解答科目)のうち高得点1科目を採用する。(＊2)						

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択 → B

② 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

コース	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験							個別学力検査等		合 計		
	国 語	地理歴史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計		面 接	調査書等
				①	②	①	②					
昼間主コース	200	(200)	(200)	(200)		(200)		200	600	200	100	900
夜間主コース	200	(200)	(200)	(200)		(200)		200	600	200	100	900

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

注2. () は選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記160点、リスニング40点。

リスニングを免除された者は、筆記200点とします。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

コ ー ス	科目等	採 点 ・ 評 価 基 準 (一 般 的 基 準)
昼 間 主 コ ー ス 夜 間 主 コ ー ス	面 接	アドミッション・ポリシーに基づいて、勉学への意欲や関心、基礎的知識、理解力、思考力、表現力、態度などを多面的、総合的に評価する。
	調 査 書 等	学業成績、人物、特別活動、入学動機、卒業後の進路などについて、評定平均値や「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含めて、総合的に評価する。

1 学部、課程及びコースの概要

(1) 教育学部アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部学校教育教員養成課程は、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

- 1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
 - ①高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。（知識・理解）
 - ②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。（知識・理解、技能）
- 2) 物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。（思考・判断・表現）
- 3) 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。（興味・関心・意欲）
- 4) 積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。（態度）

(2) 学校教育教員養成課程 初等教育・中等教育コースの概要

1) 趣旨

教員になりたいという強い意欲、資質としての高いコミュニケーション能力、入学後の学習に必要な基礎的な学力を兼ね備えた学生を受け入れるため、大学入試センター試験を利用するアドミッション・オフィス（AO）入試Ⅱによる入学者選抜を実施します。

2) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

幼児・児童・生徒の発達と学習に対して幅広い興味と関心を持ち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。

教育や発達、教科に関する課題を積極的に探求し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人の入学を期待します。

3) 目指す教育

- ・教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野・教科等についての専門的知識を修得している。（知識・理解）
- ・教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。（技能）
- ・教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。（思考・判断・表現）
- ・教師としての使命感や責任感を持ち、教育的愛情を持って幼児・児童・生徒に接することができるとともに、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。（興味・関心・意欲、態度）

(3) 学校教育教員養成課程 特別支援教育コースの概要

1) 趣旨

特別支援教育の教員を目指す強い意欲、資質としての高いコミュニケーション能力、入学後の学習に必要な基礎的な学力を兼ね備えた学生を受け入れるため、センター試験を利用するアドミッション・オフィス（AO）入試Ⅱによる入学者選抜を実施します。

2) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

幼児・児童・生徒の発達とその障がいの特性についての専門的知識、障がい者とその権利についての深い理解、個別のニーズに柔軟に対応できる実践力を身につけたいという目的意識を持ち、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級など連続性のある多様な学びの場で教師として活躍したい人を求めています。

誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会の実現に向けて、障がいのある子どもたちが輝く教育の創造に努めようとする人の入学を期待します。

3) 目指す教育

- ・教育と教職に関する確かな知識と、特別支援教育についての専門的知識を修得している。（知識・理解）
- ・教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。（技能）
- ・教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。（思考・判断・表現）
- ・教師としての使命感や責任感を持ち、教育的愛情を持って児童・生徒に接することができるとともに、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。（興味・関心・意欲、態度）

2 出 願 要 件

課 程 等	試験区分	出 願 要 件
学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	AOⅡ A	高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者で、合格した場合は入学を確約できるもの
	AOⅡ B	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校の専門教育を主とする学科（理数に関する学科等を除く。）又は総合学科を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
学校教育教員養成課程 中等教育コース 国語教育専攻 社会科教育専攻 英語教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 保健体育専攻 家政教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 特別支援教育コース	AOⅡ	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和元年10月2日(水)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual>）で公表しています。）なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

3 出願期間等

(1) 出 願 期 間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月 7 日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月 1 日(金) 0 時～11月 7 日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月 1 日(金)～11月 7 日(木)〔11月 7 日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月 8 日(金)以降に配達されたもののうち、11月 7 日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(2) 出 願 手 続

詳細については、3 ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

4 試 験 期 日

(第 1 次選抜の日時)

令和元年11月24日(日)午前 9 時から

詳細については、40 ページ「6 試験期日及び試験時間」を参照してください。

5 試 験 場

教育学部で実施します。

詳細については、令和元年11月23日(土)午前10時に教育学部試験場前（試験場の位置については46ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

6 選抜方法等

- (1) 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
 中等教育コース 国語教育専攻, 社会科教育専攻, 英語教育専攻,
 数学教育専攻, 理科教育専攻, 技術教育専攻,
 保健体育専攻, 家政教育専攻

① 第1次選抜

面接, グループディスカッションの結果及び提出された出願書類(志望理由書, 自己推薦書, 調査書, 活動報告書)により選考し, 募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は, 令和元年12月6日(金)に, 「速達・簡易書留郵便」で, 第1次選抜合格者には, 選抜結果通知書, 連絡事項を送付します。不合格者には, 選抜結果通知書を送付します。

また, 合格者については, 教育学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に, 愛媛大学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし, ホームページ上での発表は, 参考として閲覧の上, 必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和2年1月20日(月)~24日(金)の間に, 「令和2センター試験成績請求票 **AO** 国公立AO入試用」を教育学部入試係へ提出してください。

なお, 持参する場合は, 午前9時から午後5時までとします。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により, 選抜を行います。

大学入試センター試験の利用教科・科目等について(第2次選抜)

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法							
教科	科目名等						
国語	「国語」				1		
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」				} から1		
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」						
数学	「数学Ⅰ・数学A」				} から1		
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」						
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」				から2	A	} から1（＊1）
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」				から1	B 又はB	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」				から1		
〔5教科5科目〕（＊1）							
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「数学」において, 2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。 「理科」において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点1科目を採用する。（＊2） 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。							

注1. ◆は, 指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱い

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択 → B

③ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		合 計
国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	面 接 グループディス カッション	調査書等	
			①	②	①	②					
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	200	100	1000

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①

「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→ 数学②

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→ 理科①

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→ 理科②

注2. () は、選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記160点、リスニング40点。

リスニングを免除された者は、筆記200点とします。

注4. 面接・グループディスカッションの配点は合計点とします。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
面 接	小学校教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や主体性などを総合的に評価する。
グループディス カッション	学校教育・社会や生活に関する諸課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学部で学ぶことへの興味・関心、教員として社会に貢献する意欲、思考力・判断力・表現力、主体性などを総合的に評価する。特に、他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や、他者の意見を傾聴しそれを踏まえて議論を発展させられるコミュニケーション能力及び主体性を評価する。
調 査 書 等	活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。 志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。

学校教育教員養成課程 中等教育コース

国語教育専攻、社会科教育専攻、英語教育専攻、数学教育専攻、理科教育専攻、技術教育専攻、保健体育専攻、家政教育専攻

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
面 接	中学校教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や主体性などを総合的に評価する。
グループディス カッション	学校教育・社会や生活に関する諸課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学部で学ぶことへの興味・関心、教員として社会に貢献する意欲、思考力・判断力・表現力、主体性などを総合的に評価する。特に、他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や、他者の意見を傾聴しそれを踏まえて議論を発展させられるコミュニケーション能力及び主体性を評価する。
調 査 書 等	活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。 志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。

(2) 学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽教育専攻

① 第1次選抜

実技検査、面接、グループディスカッションの結果及び提出された出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

また、合格者については、教育学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和2年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和2センター試験成績請求票 **AO** 国公立AO入試用」を教育学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により、選抜を行います。

大学入試センター試験の利用教科・科目等について(第2次選抜)

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法								
教科	科目名等							
国語	「国語」				1			
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」				} から1			
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」							
数学	「数学Ⅰ・数学A」				} から1			
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」							
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」				から2	A	A	} から1（＊1）
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」				から1	B	又はB	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」				から1			
〔5教科5科目〕（＊1）								
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「数学」において, 2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。 「理科」において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点1科目を採用する。（＊2） 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。								

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱い

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目を選択 → B

③ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等			合 計
国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	実 技	面 接 グループディ スカッション	調査書等	
			①	②	①	②						
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	500	100	100	1400

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ」→数学①
「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ・数学Ⅳ」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→数学②
「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→理科①
「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→理科②

注2. () は、選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記160点、リスニング40点。
リスニングを免除された者は、筆記200点とします。

注4. 面接・グループディスカッションの配点は合計点とします。

④ 実技検査内容

検 査 内 容
1 音楽に関する基礎検査 新曲視唱・視奏、聴音、創作による検査を行い、あわせて、楽典の内容を含む口述試験を行う。 2 ピアノ 任意のピアノ曲を暗譜で演奏する。 3 弾き歌い 中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。 4 選択実技 下記のA、Bのどちらかを選択する。 A 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。歌曲、アリアはピアノ伴奏とし、願書に添えて伴奏譜を提出する。 B 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノの独奏曲は、2と異なる曲とする。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注1. 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし、弾き歌い、又は無伴奏で演奏することとし、願書に添えて楽譜を提出する。

注2. 上記の試験は、入学後における研究分野と関連するものではなく、卒業研究分野は、演奏(声楽・ピアノ・管打楽器)、作品発表、論文の中から選択することとする。

注3. 受験者は上履きを持参すること。

⑤ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
音楽実技	中学校・高等学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる音楽理論の理解度と音楽性（表現力、創造力）を、総合的に評価する。
面接	音楽教育への関心や教員を目指す目的意識、勉学意欲などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力を有していることを評価する。
グループディスカッション	学校教育・音楽教育・社会や生活に関する諸問題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学部で学ぶことへの興味・関心、教員として社会に貢献する意欲、思考力・判断力・表現力、主体性などを総合的に評価する。特に、他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や、他者の意見を傾聴しそれを踏まえて議論を発展させられるコミュニケーション能力及び主体性を評価する。
調査書等	活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。 志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。

(3) 学校教育教員養成課程 中等教育コース 美術教育専攻

① 第1次選抜

実技検査、面接の結果及び提出された出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）により選考し、募集人員の2倍程度を合格者としします。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

また、合格者については、教育学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和2年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和2センター試験成績請求票 **AO** 国公立AO入試用」を教育学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により、選抜を行います。

大学入試センター試験の利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法									
教科	科目名等								
国語	「国語」					1			
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」					} から1			
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」								
数学	「数学Ⅰ・数学A」					} から1			
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」								
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」					から2	A	A	} から1（＊1）
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」					から1	B	又はB	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」					から1			
〔5教科5科目〕（＊1）									
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「数学」において, 2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。 「理科」において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点1科目を採用する。（＊2） 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。									

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱い

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目を選択 → B

③ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等			合 計
国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	実 技	面 接	調査書等	
			①	②	①	②						
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	500	100	100	1400

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」→数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」→数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」→理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」→理科②

注2. () は、選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記160点, リスニング40点。

リスニングを免除された者は、筆記200点とします。

④ 実技検査内容

検 査 内 容
鉛筆による静物デッサン

注1 描画材料（鉛筆、消しゴム他）は、各自持参すること。

注2 カルトン、画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は、本学で準備する。

⑤ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に関わる能力を総合的に評価する。また、中学校・高等学校の美術科指導に必要な知識、思考力・判断力・表現力、及び美術への意欲、態度を評価の視点とする。
面接	美術と美術教育に対する目的意識、学習意欲、基礎的知識、及びそれらを他者へ伝える自己表現力などについて、総合的に評価する。また、中学校・高等学校の美術科指導に必要な思考力・判断力・表現力と、美術と美術教育への興味・関心・意欲、及び主体的な態度を評価の視点とする。
調査書等	活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。 志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。

(4) 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

① 第1次選抜

面接及び提出された出願書類（志望理由書，自己推薦書，調査書，活動報告書）により選考し，募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は，令和元年12月6日(金)に，「速達・簡易書留郵便」で，第1次選抜合格者には，選抜結果通知書，連絡事項を送付します。不合格者には，選抜結果通知書を送付します。

また，合格者については，教育学部掲示場に受験番号で発表します。（午前10時）

更に，愛媛大学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。（午前10時30分頃）

ただし，ホームページ上での発表は，参考として閲覧の上，必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和2年1月20日(月)～24日(金)の間に，「令和2センター試験成績請求票 **AO** 国公立AO入試用」を教育学部入試係へ提出してください。

なお，持参する場合は，午前9時から午後5時までとします。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により，選抜を行います。

大学入試センター試験の利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法									
教科	科目名等								
国語	「国語」					1			
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」					} から1			
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」								
数学	「数学Ⅰ・数学A」					} から1			
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」								
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」					から2	A	A	} から1（＊1）
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」					から1	B	又はB	
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」					から1			
〔5教科5科目〕（＊1）									
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「数学」において, 2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。 「理科」において, 基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点1科目を採用する。（＊2） 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。									

注1. ◆は，指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の，科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は，2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は，2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は，筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には，「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については，次のように表記しています。

「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1科目を選択 → B

③ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		合 計
国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	面 接	調 査 書 等	
			①	②	①	②					
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	700	200	100	1000

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」→ 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」→ 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」→ 理科②

注2. () は、選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記160点、リスニング40点。

リスニングを免除された者は、筆記200点とします。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
面 接	特別支援教育への関心や特別支援学校教員を目指す目的意識、勉学意欲などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力を有していることを評価する。
調 査 書 等	活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。 志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。

1 産業マネジメント学科の概要

【産業マネジメントコース，事業創造コース】

(1) 入学受入の方針（アドミッション・ポリシー）

地域経済を構成する企業・住民・自治体などの要素と，企業を構成するヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源について学ぶと同時に，これらを実社会で適切にマネジメントする能力を養うために，地域産業や地域企業と連携して各種プロジェクトの実践を行います。これらの教育を通じて，企業・組織を共に盛り上げ，事業を共に革新する人材を育成します。

このため，本学科では以下の入学受入の方針を定め，これに基づき，大学入試センター試験，面接，活動報告書・志望理由書・調査書により評価するアドミッション・オフィス入試（AO入試）Ⅱによる入学受入を実施します。

〈求める入学受入者像〉

（知識）

1. 高等学校で履修する国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などに関して，高等学校卒業相当の基礎学力を有している。

（思考・判断）

2. 目標を達成するために，多面的視点から論理的に考察し，自己の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲・協働）

3. 地域社会や地域企業に関心を持ち，地域産業の持続可能な発展に貢献する意欲を有している。
4. 様々な人々と協働して，地域社会や地域産業の課題解決に主体的に取り組む姿勢を有している。

（技能・表現）

5. 他者の意見を理解し，自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

(2) 卒業認定・学位授与の方針〈ディプロマ・ポリシー〉

〈学習の到達目標〉

（知識・実技）

1. 地域産業マネジメント及び事業創造に必要な基礎的知識，専門的知識を修得している。

（思考・判断）

2. 地域産業に関する課題の解決に向けて，地域産業マネジメント及び事業創造の専門知識と客観的知見に基づいて多面的に考察し，論理的な思考・総合的な判断に基づいて課題解決策を導き出すことができる。

（興味・関心・意欲・協働）

3. 地域産業や新規事業の特徴，強み及び課題に対して，自ら積極的に関心を持ち続けることができる。
4. 地域産業を新たな価値創造へと導こうとする意欲を有し，地域産業や事業創造に関する諸課題の解決に取り組むことができる。

（技能・表現）

5. 地域社会の諸課題の解決に必要な情報を，適切な調査・分析方法を用いて収集・整理・分析することができる。

6. 自らの思考・判断を客観的かつ論理的に表現し，他者との間で討論ができる。

（リーダーシップ）

7. 地域産業マネジメント及び事業創造に向けて，サーバントリーダーシップを発揮することができる。

(3) 卒業後の進路

卒業後は民間企業内での新事業の創造や既存事業の活性化，各種公務員・金融機関の職員として地域産業のサポート，税理士・中小企業診断士などの高度職業人としての起業・創業の支援，大学院への進学などを主な進路として想定しています。

(4) コース配属について

産業マネジメント学科では，1年次終了時にコース希望調査を行い，配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は，希望どおりに配属されない場合があります。

2 出願要件

AOⅡ A	次の①から③までの条件を全て満たす者 ① 高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 ② 合格した場合は入学を確約できる者 ③ 本学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学科への志望動機が明確な者
AOⅡ B	次の①から③までの条件を全て満たす者 ① 高等学校の専門教育を主とする学科（理数に関する学科等を除く。）を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 ② 合格した場合は入学を確約できる者 ③ 本学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学科への志望動機が明確な者
AOⅡ C	次の①から③までの条件を全て満たす者 ① 高等学校の総合学科を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 ② 合格した場合は入学を確約できる者 ③ 本学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学科への志望動機が明確な者

3 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(2) 出願手続

詳細については、3ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

4 試験期日

令和2年2月1日(土)午前10時から

詳細については、40ページの「6 試験期日及び試験時間」を参照してください。

5 試験場

社会共創学部で実施します。

詳細については、令和2年1月31日(金)午前10時に社会共創学部試験場前（試験場の位置については、46ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

6 選抜方法等

大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出された出願書類（活動報告書、志望理由書、調査書）の内容から、アドミッション・オフィス方式（総合評価方式）により、志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的、総合的に評価します。

① 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法									
教科	科目名等								
国語	「国語」					1			
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」					} から2			
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」								
数学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」					} から1(*1)			
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」						から2	A	A
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」						から1	B	又はB
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」					から1			
〔4又は5教科5科目〕(*1)									
◆「数学」, 「理科」において計2科目以上を受験している場合は, 「数学」, 「理科」の基礎を付した科目, 「理科」の基礎を付していない科目（2科目受験している場合は, 第1解答科目）のうち高得点1科目を採用する。(*2)									

注1. ◆は, 指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

*2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

注2. 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外の者に限ります。

注3. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注4. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象となりません。

注5. 大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択 → A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択 → B

② 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		合 計
国 語	地 理 史 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	面 接	活動報告書 志望理由書 調査書	
			①	②	①	②					
150	△	△	(△)	(△)	(△)	(△)	150	500	150	50	700

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については, 次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

注2. △は, 最高得点の科目の配点を100点とし, その他の2科目の配点を, 50点とします。

・「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

・「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

注3. () は選択科目の配点を示します。

注4. 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は次のとおりです。

筆記120点, リスニング30点。

リスニングを免除された者は, 筆記150点とします。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

	科目等	採 点 ・ 評 価 基 準
AOⅡ A AOⅡ B AOⅡ C	面 接	活動報告書，志望理由書，調査書を参考に，これまでの活動，志望理由，学習意欲，目的意識，経済・経営・社会・グローバル化に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から，本学科において学ぶために必要な「知識」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。なお，面接の評価が著しく低い場合は，総合点の順位にかかわらず可否を検討することがある。
	活動報告書 志望理由書 調 査 書	「知識・実技」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には，活動報告書は志願者が経験した多様な取り組み，課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性，学習意欲，課題意識，入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習などを総合的に評価する。 また，面接における参考資料となる。

特別コースの受験を考えている皆さんへ

愛媛大学農学部は、学術研究の進展や農学分野に対する社会・地域からの要望に対応することを目的として、農学がカバーすべき3つの領域、すなわち「食料」「生命」「環境」に対応する3つの学科（食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科）を設置しています。また、各学科に修士課程までの6年一貫教育を特徴とする特別コースを設置しています。

1 特別コースの概要

(1) 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

i. コースの目指す教育

本特別コースは、最先端の情報通信技術やセンサー技術を利用し、植物生体情報や環境情報の収集と解析、植物や環境に関するビッグデータ利用によるデータベースの構築と解析を通して、食料生産の情報化・知能化の推進、スマートアグリの実現を目指して教育研究を行います。また、生産現場における農業生産工程管理（GAP）や認定農業者制度などに関する情報も活用し、食の安全性や品質を担保するためトレーサビリティシステムなどの利用による流通システムの可視化を支援します。さらに、これら生産、収穫、流通、貯蔵、加工、販売などの経済活動を俯瞰的に捉え、大規模施設園芸団地と周辺の圃場や企業との連携による6次産業化など、新しい形の食料生産をイノベーションするための教育研究も行います。最終的には「総合情報システム化によるフードイノベーション」に対応できるスペシャリストや研究者を育成します。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、食料や情報化技術に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と知能的食料生産科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、知能的食料生産科学に係わる基礎的な知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

〈食料生産学科アドミッション・ポリシー〉

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の6次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【知能的食料生産科学特別コース アドミッション・ポリシー】

知能的食料生産科学特別コースは、圃場、園芸施設、植物工場など様々な食料生産現場において、篤農家技術からセンサー技術、情報化技術、情報通信技術まで様々な先端技術を活用して、栽培、管理から、収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスの知能化、スマート化を進めるために必要な知識や技術を身につける意欲をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

※スマート化：情報通信技術（ICT）を駆使し、状況に応じて運用を最適化するインテリジェントなシステムを構築すること

(知識・理解)

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に食料に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(2) 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

i. コースの目指す教育

高齢化と健康意識の向上に伴って、食による健康維持や食品の機能性に関する教育研究の重要性はますます高まっています。このような社会的背景のもと、健康機能栄養科学特別コースでは、「食と健康」に重点を置いた、大学院修士課程までの6年一貫教育を実施します。食品成分の機能学的・栄養学的解析に関する基礎領域から、機能性食品の開発などの産業に直結した応用領域に至る教育・研究を通して、食と健康のエキスパート、及び研究者を育成します。また、農学研究科附属食品健康科学研究センターと連携するとともに、医学部との医農連携による教育体制を取ることを特徴としています。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、食品の健康機能や栄養機能に関する様々な問題に関心をもち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と健康機能栄養科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、健康機能栄養科学に係わる基礎的な知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

〈生命機能学科アドミッション・ポリシー〉

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【健康機能栄養科学特別コース アドミッション・ポリシー】

健康機能栄養科学特別コースは、食品の栄養機能や保健機能に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、食の機能性解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

(知識・理解)

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に生命に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(3) 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

i. コースの目指す教育

農村の水環境問題は、その重要性にもかかわらず、対策が極めて遅れています。本特別コースでは、日本はもとより発展途上国において、生活排水、工業排水、農業排水などで汚染が進行している「農村の農業用水、生活用水、河川水、地下水などの水環境」の再生と、下水再生水や下水汚泥などの再生資源の農業利用に関して、世界で活躍できる高度な知識と技術を有する人材を育成します。

また、愛媛大学沿岸環境科学研究センター、農学部環境先端技術センターと連携協力し、水質の計測・分析・解析に関する最先端手法・技術（環境微量分析、分子生物学的解析など）を教育することを特徴としています。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、農村の水環境に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と水環境再生科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、水環境再生科学に係わる基礎的な知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

〈生物環境学科アドミッション・ポリシー〉

生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境問題に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【水環境再生科学特別コース アドミッション・ポリシー】

水環境再生科学特別コースは、農村の水環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、日本はもとより世界的な視点から、その問題の解決に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

（知識・理解）

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に環境に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

（技能・表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

2 出 願 要 件

次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規程（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ① 合格した場合は入学を確約できる者
 - ② 志望学科及び志望特別コースのアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

※ 学校教育法施行規則第150条第7号で出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和元年10月18日(金)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual/>）で公表しています。）

なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

3 出 願 期 間 等

(1) 出 願 期 間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(2) 出 願 手 続

詳細については、3ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

4 試 験 期 日

令和2年2月1日(土)午前9時から

詳細については、40ページの「6 試験期日及び試験時間」を参照してください。

5 試 験 場

農学部で実施します。

詳細については、令和2年1月31日(金)午前10時に農学部試験場前（試験場の位置については、46ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

6 選抜方法等

大学入試センター試験、面接、口頭試問の結果及び出願書類（志望理由書、志願者評価書、調査書）によりアドミッション・オフィス方式（総合評価方式）によって志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的、総合的に評価します。

① 大学入試センター試験の利用教科・科目等について（全特別コース共通）

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法							
教科	科目名等						
国語	「国語」				1		
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」				} から1		
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治経済」, 「倫理, 政治経済」						
数学	「数学Ⅰ・数学A」				1		
	「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」				から1		
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」				から2	C 又はD	} から2(*1)
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」				から1		
	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」				から2		
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」				から1		
〔5教科7科目〕(*1)							
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。							

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

*1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

注2. ◇「理科」における同一名称を含む科目とは、「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。

注3. 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外に限ります。

注4. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱いします。

注5. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象となりません。

注6. 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択 → C
「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択 → D

② 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（全特別コース共通）

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等			合 計
国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	小 計	面 接	口頭試問	出願書類	
			①	②	①	②						
100	(50)	(50)	50	50	(50)	(50) 又は (100)	100	450	200	100	150	900

注1. 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 → 数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 → 理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 → 理科②

注2. () は、選択科目の配点を示します。

注3. 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は次のとおりです。

筆記80点、リスニング20点。

リスニングを免除された者は、筆記100点とします。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

i. 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

科目等	採 点 ・ 評 価 基 準 （ 一 般 的 基 準 ）
面 接	学習意欲，知能的食料生産科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口 頭 試 問	高等学校で履修した主要教科・科目の中で，知能的食料生産科学に関連する知識について評価する。
出 願 書 類 （ 志 望 理 由 書 ） （ 志 願 者 評 価 書 ） （ 調 査 書 ）	学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。

ii. 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

科目等	採 点 ・ 評 価 基 準 （ 一 般 的 基 準 ）
面 接	学習意欲，健康機能栄養科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口 頭 試 問	高等学校で履修した主要教科・科目の中で，健康機能栄養科学に関連する知識について評価する。
出 願 書 類 （ 志 望 理 由 書 ） （ 志 願 者 評 価 書 ） （ 調 査 書 ）	学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。

iii. 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

科目等	採 点 ・ 評 価 基 準 （ 一 般 的 基 準 ）
面 接	学習意欲，水環境再生科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口 頭 試 問	高等学校で履修した主要教科・科目の中で，水環境再生科学に関連する知識について評価する。
出 願 書 類 （ 志 望 理 由 書 ） （ 志 願 者 評 価 書 ） （ 調 査 書 ）	学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。

学 部		学 科 ・ 課 程 等						試 験 期 日 等				
法 文 学 部		人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」 人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」						令和2年2月2日(日) 面接調書作成 9：00～9：30 面接（口頭試問を含む。） 10：00～				
教 育 学 部		学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初等教育コース 小学校サブコース						令和元年11月24日(日) 面接・グループディスカッション 9：00～			
			中 等 教 育 コ ー ス	国 語 教 育 専 攻	社 会 科 教 育 専 攻	英 語 教 育 専 攻	数 学 教 育 専 攻	理 科 教 育 専 攻	技 術 教 育 専 攻	保 健 体 育 専 攻	令和元年11月24日(日) 面接・グループディスカッション 9：00～	
										音 楽 教 育 専 攻		美 術 教 育 専 攻
			特 別 支 援 教 育 コ ー ス						令和元年11月24日(日) 面接 9：00～			
社会共創学部		産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科						令和2年2月1日(土) 面接 10：00～				
農 学 部		食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース						令和2年2月1日(土) 面接及び口頭試問 9：00～				
		生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース										
		生物環境学科 水環境再生科学特別コース										

※集合時間等については、受験票送付時にお知らせします。

7 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項	合 否 判 定 基 準		
	総合点で 合否を判 定する。	原則として総合点で合 否を判定するが、ある 科目の成績が水準以下 の場合は、総合点の如 何にかかわらず不合格 となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
学 部			
法 文 学 部	○		同点者は、同順位とする。
教 育 学 部 第1次選抜 第2次選抜		○注1	(第1次選抜) 全てのコースにおいて同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) (学校教育教員養成課程初等教育コース小学校サブコース) ① 同点者は、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ② 面接・グループディスカッションの得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。 (学校教育教員養成課程中等教育コース：国語教育専攻、社会科教育専攻、英語教育専攻、数学教育専攻、理科教育専攻、技術教育専攻、保健体育専攻、家政教育専攻) ① 同点者は、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ② 面接・グループディスカッションの得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。 (学校教育教員養成課程中等教育コース：音楽教育専攻) ① 同点者は、実技検査の得点により順位を付ける。 ② 実技検査の得点が同点の場合、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ③ 面接・グループディスカッションの得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。 (学校教育教員養成課程中等教育コース：美術教育専攻) ① 同点者は、実技検査の得点により順位を付ける。 ② 実技検査の得点が同点の場合、面接の得点により順位を付ける。 ③ 面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。 (学校教育教員養成課程特別支援教育コース) ① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。
社会共創学部		○注2	同点者は、同順位とする。
農 学 部	○		同点者は、同順位とする。

注1 グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位にかかわらず合否を検討することがある。

注2 面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位にかかわらず合否を検討することがある。

8 合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和2年2月7日(金) 16時

教育学部第1次選抜の結果発表については、下記を参照してください。

課 程 ・ コ ー ス 等			参 照 先
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 教 育 コ ー ス	小学校サブコース	22ページ
	中 等 教 育 コ ー ス	国語教育専攻, 社会科教育専攻 英語教育専攻, 数学教育専攻 理科教育専攻, 技術教育専攻 保健体育専攻, 家政教育専攻	22ページ
		音楽教育専攻	24ページ
		美術教育専攻	26ページ
	特別支援教育コース		28ページ

(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者については、当該学部掲示場に受験番号で発表します。
- 2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を合格者に送付します。
- 3) 愛媛大学ホームページに合格者受験番号を掲載します。(16時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。(https://www.ehime-u.ac.jp/)

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

9 留 意 事 項

1. このアドミッション・オフィス(AO)入試Ⅱでは、各学部・学科等で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査するので、合格者が募集人員に満たない場合があります。
また、入学手続者が募集人員に満たない場合でも、追加合格は行いません。
2. 本選抜に合格し入学手続を完了した者は、国公立大学の一般入試の合格者とはなりません。
3. 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取り扱います。
4. 本選抜の合格者で、やむを得ない事情により入学を辞退する者は、令和2年2月14日(金)までに「入学辞退届」を提出しない場合には、国公立大学の一般入試を受験しても合格者とはなりません。
5. 入学手続完了者でやむを得ない事情により入学を辞退する者は、令和2年2月19日(水)までにその理由を明記した「入学辞退願」を本学へ提出し、入学辞退の許可を得なければ、国公立大学の一般入試を受験しても合格者とはなりません。
6. このアドミッション・オフィス(AO)入試Ⅱに不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試に出願することができます。
7. 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、AO入試の合格及び入学手続等に関する個人情報(独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます)。
8. 入学手続完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。

本学では、障がい等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

- ・ 受験上の合理的配慮希望申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>)
- ・ 障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者）の写し又は医師の診断書（写しでも可）等、障がい等の現況が確認できる資料
- ・ 大学入試センターから送付された「受験上の配慮決定事項通知書」の写し

（注）日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要になります。なお、座布団、膝掛け、タオル（サイズは問わない）、ティッシュペーパー、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（50ページの学部等照会先参照）

11 入学手続及び初年度の諸経費

(1) 入学手続

① 入学手続期間

令和2年2月12日(水)～2月14日(金)必着

② 入学手続書類等

書 類 等	摘 要	備 考
宣 誓 書	本学所定の用紙に必要事項をボールペンで記入したもの	合格通知書とともに送付します。
保 証 書	同上	
学 生 記 録	同上	
学 生 証 写 真 票	同上	
保証人・保護者への成績開示に関する同意書	同上	入学手続完了後に返還します。
令和2年度大学入試センター試験受験票	大学入試センター発行のもの	
令和2年度愛媛大学受験票	本学発行のもの	
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書	在学中の者は、卒業後に提出してください。
住民票の写し (日本国籍を有しない者のみ提出してください。)	市区町村長が発行したもの	
写 真 (白黒又はカラー)	縦4cm×横3cmのもの2枚(上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したもの)1枚は、学生記録の写真欄に貼ってください。1枚は、学生証写真票に貼ってください。	
入学料及び授業料	45ページ「(2) 初年度の諸経費」を参照	

③ 入学手続の方法

本学から送付する入学手続書類に必要事項を記入の上、前記②の入学手続書類等を一括して、本募集要項4ページ記載の「(3) 出願書類の送付先」まで、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

なお、やむを得ず持参する場合は、あらかじめ志願学部入試係(平日8時30分～17時：50ページ「15 入学試験の照会方法」参照)まで電話連絡の上、入学手続期間内の9時から17時までの間に来学してください。

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(2) 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	合計金額
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円	71,660円	889,460円
教 育 学 部		〔前期分 267,900円〕	64,660円	882,460円
社 会 共 創 学 部			44,660円	862,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、平成31年度納付額であり、令和2年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

(3) 納付金の納入

- ① 入 学 料 282,000円（法文学部「夜間主コース」は、141,000円）

納入期間 入学手続期間

- ② 授 業 料 前期分267,900円〔年額535,800円〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分133,950円〔年額267,900円〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

12 試験場・試験場案内・交通機関案内

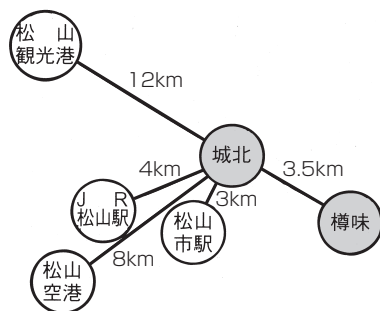
試験場

学 部	図標示	試 験 場	所 在 地
法 文 学 部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
教 育 学 部			
社会共創学部			
農 学 部	②	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

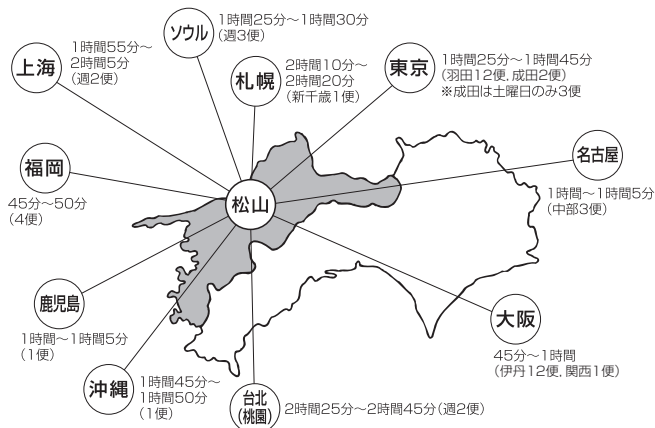


Access



Air Line

(令和元年7月現在)



① 法文学部，教育学部，社会共創学部

城北キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

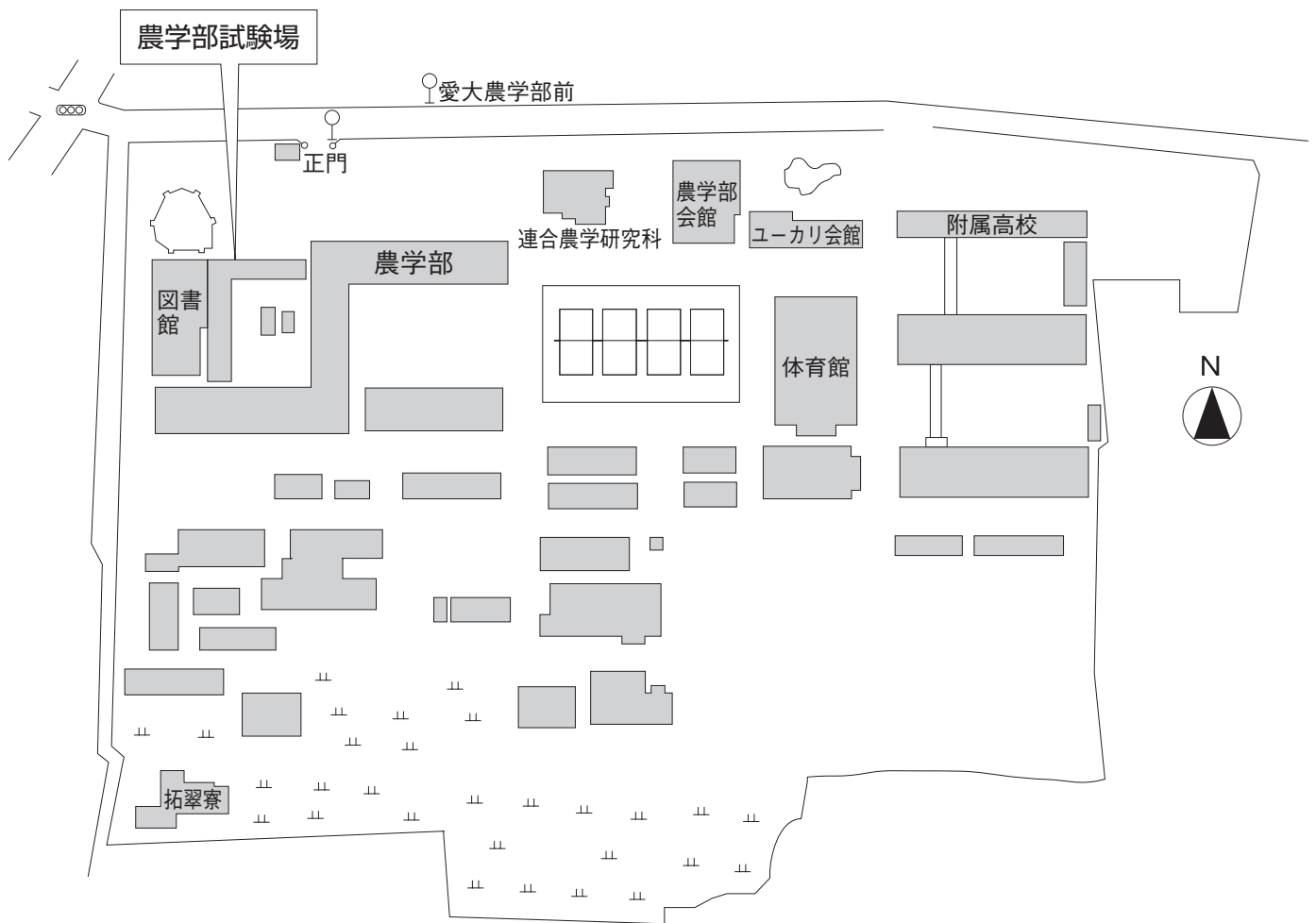
伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅回り 乗車約28分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

2 農学部

樽味キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

本学では、入学試験の個人成績及び調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って開示します。令和2年度入学試験の個人成績及び調査書の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和2年5月1日(金)～令和2年5月31日(日)

郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、令和2年度愛媛大学受験票又は令和2年度大学入試センター試験受験票と、414円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（50ページ参照）へ請求してください。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

（請求書面記入例）

令和2年 月 日
愛媛大学〇〇学部長 殿
請求者氏名 _____ ⑤
愛媛大学受験番号 _____
連絡先 電話 - -
入学試験個人成績・調査書 開 示 請 求 書
令和2年度のAO入試Ⅱについて、下記のとおり開示請求します。
記
{ 1. 試験成績 2. 調査書
開示請求するものを明記してください。

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報とは、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

15 入学試験の照会方法

入学試験について文書にて照会する場合は、84円分の切手を貼った定形の返信用封筒を同封してください。
インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、出願操作サポート窓口(コールセンター)
(8ページ参照)へ連絡してください。

学 部	入 試 係 の 住 所 ・ 電 話	
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部入試係	TEL 089-927-9221
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	TEL 089-927-9377
社 会 共 創 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学社会共創学部入試係	TEL 089-927-9019
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 愛媛大学農学部入試係	TEL 089-946-9648

16	資	料
----	---	---

■平成31年度 入学者選抜当初合格者の成績一覧

区分	学部	学 科 ・ 課 程 等			募集 人員	当初 合格 者数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点				
							満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点	
AO 入試Ⅱ	法 学 部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」			35	35	600	514.40	406.60	462.15	300	開示しない			900	開示しない			
		人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」			10	10	600	528.40	355.80	423.36	300	開示しない			900	開示しない			
	教 育 部	学校教育教員 養 成 課 程	小 学 校 サブコース	AOⅡ A	10	10	900	647.60	544.00	585.58	400	開示しない			1,300	開示しない			
				AOⅡ B	6	5	900	開示しない			400	開示しない			1,300	開示しない			
		特 別 支 援 教 育 教 員 養 成 課 程			8	8	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない			
	社会共創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科		AOⅡ A	5	5	500	開示しない			200	開示しない			700	開示しない			
				AOⅡ B	7	7	500	開示しない			200	開示しない			700	開示しない			
				AOⅡ C	5	5	500	開示しない			200	開示しない			700	開示しない			
	農学部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース			7	3	450	開示しない			450	開示しない			900	開示しない		
		生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース			7	6	450	開示しない			450	開示しない			900	開示しない		
		生物環境学科	水環境再生科学特別コース			5	0	450	合格者なし			450	合格者なし			900	合格者なし		

注) 募集人員又は当初合格者が10人未満の場合は公表しないことになっています。
また、個別学力検査等において、面接、グループディスカッション、出願書類（調査書、活動調査書等）の組み合わせのみで評価する場合は、個別学力検査等の開示はしません。

■平成31年度 志願者数等状況

AO入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ 課 程 等				募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数			
						男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計	
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」				35	34	82	116	3.3	32	82	114	7	28	35	3.3	7	28	35	
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」				10	6	17	23	2.3	5	16	21	1	9	10	2.1	1	8	9	
	計				45	40	99	139	3.1	37	98	135	8	37	45	3.0	8	36	44	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等教育 コース	小 学 校 サブコース	AOⅡ A	(第1次選抜)	10	8	11	19	1.9	8	11	19	8	11	19	/	/	/	/
				(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/		4	6	10	1.9	4	6	10	
				AOⅡ B	(第1次選抜)	6	1	5	6	1.0	1	5	6	1	5	6	/	/	/	/
				(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/		1	4	5	1.2	1	4	5	
	特別支援教育教員養成課程				(第1次選抜)	8	1	9	10	1.3	1	9	10	1	9	10	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/		1	7	8	1.3	1	7	8
	計				(第1次選抜)	24	10	25	35	1.5	10	25	35	10	25	35	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/		6	17	23	1.5	6	17	23
社会共創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科			AOⅡ A	5	5	8	13	2.6	5	8	13	0	5	5	2.6	0	5	5	
				AOⅡ B	7	2	6	8	1.1	2	6	8	1	6	7	1.1	1	6	7	
				AOⅡ C	5	4	3	7	1.4	4	3	7	3	2	5	1.4	3	2	5	
	計				17	11	17	28	1.6	11	17	28	4	13	17	1.6	4	13	17	
農 学 部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース			7	4	2	6	0.9	4	2	6	1	2	3	2.0	1	2	3	
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース			7	5	10	15	2.1	5	10	15	2	4	6	2.5	2	4	6	
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース			5	0	1	1	0.2	0	1	1	0	0	0	－	0	0	0	
	計				19	9	13	22	1.2	9	13	22	3	6	9	2.4	3	6	9	
合 計					105	70	154	224	2.1	67	153	220	21	73	94	2.3	21	72	93	

■平成30年度 志願者数等状況

AO入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ 課 程 等					募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
							男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」					35	36	70	106	3.0	35	68	103	8	27	35	2.9	8	27	35
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」					10	11	9	20	2.0	10	9	19	5	3	8	2.4	5	3	8
	計					45	47	79	126	2.8	45	77	122	13	30	43	2.8	13	30	43
教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等教育 コ ー ス	小 学 校 サブコース	AOⅡ A	(第1次選抜)	10	13	8	21	2.1	13	8	21	13	8	21	/	/	/	/
				(第2次選抜)	/		/	/	/	/	/	6	3	9	2.3	6	3	9		
				AOⅡ B	(第1次選抜)	6	2	4	6	1.0	2	4	6	2	4	6	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	2	3	5	1.2	2	3	5	
	特別支援教育教員養成課程				(第1次選抜)	8	2	9	11	1.4	2	9	11	2	9	11	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	1	7	8	1.4	1	7	8	
	計				(第1次選抜)	24	17	21	38	1.6	17	21	38	17	21	38	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	9	13	22	1.7	9	13	22	
社会共創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科				AOⅡ A	5	13	4	17	3.4	13	4	17	3	2	5	3.4	3	2	5
					AOⅡ B	7	5	4	9	1.3	5	4	9	3	4	7	1.3	3	4	7
					AOⅡ C	5	3	3	6	1.2	3	3	6	3	1	4	1.5	3	1	4
	計				17	21	11	32	1.9	21	11	32	9	7	16	2.0	9	7	16	
理 学 部	数 学 学 科				8	11	4	15	1.9	11	4	15	5	3	8	1.9	5	3	8	
	物 理 学 科				8	5	2	7	0.9	5	1	6	3	1	4	1.5	3	1	4	
	化 学 学 科				7	11	1	12	1.7	11	1	12	8	1	9	1.3	8	1	9	
	計				23	27	7	34	1.5	27	6	33	16	5	21	1.6	16	5	21	
農 学 部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース				7	3	2	5	0.7	3	2	5	2	1	3	1.7	2	1	3
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース				7	3	8	11	1.6	3	8	11	1	4	5	2.2	1	4	5
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース				5	4	2	6	1.2	4	2	6	1	2	3	2.0	1	2	3
	計				19	10	12	22	1.2	10	12	22	4	7	11	2.0	4	7	11	
合 計						128	122	130	252	2.0	120	127	247	51	62	113	2.2	51	62	113

■平成29年度 志願者数等状況

AO入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ 課 程 等					募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
							男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」					35	33	62	95	2.7	29	57	86	10	25	35	2.5	10	25	35
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」					10	9	11	20	2.0	9	10	19	1	3	4	4.8	1	3	4
	計					45	42	73	115	2.6	38	67	105	11	28	39	2.7	11	28	39
教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等教育 コ ー ス	小 学 校 サブコース	AOⅡ A	(第1次選抜)	10	6	12	18	1.8	6	12	18	6	12	18	/	/	/	/
				(第2次選抜)	/		/	/	/	/	/	/	2	3	5	3.6	2	3	5	
				AOⅡ B	(第1次選抜)	6	0	6	6	1.0	0	6	6	0	6	6	/	/	/	/
					(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	0	6	6	1.0	0	6	6	
	特別支援教育教員養成課程			(第1次選抜)	8	4	17	21	2.6	4	17	21	3	14	17	/	/	/	/	
				(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	2	6	8	2.6	2	6	8		
	計			(第1次選抜)	24	10	35	45	1.9	10	35	45	9	32	41	/	/	/	/	
				(第2次選抜)		/	/	/	/	/	/	4	15	19	2.4	4	15	19		
社会共創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科			AOⅡ A		5	6	12	18	3.6	6	12	18	1	4	5	3.6	1	4	5
				AOⅡ B		7	5	10	15	2.1	5	10	15	2	5	7	2.1	2	5	7
				AOⅡ C		5	2	3	5	1.0	2	3	5	1	2	3	1.7	1	2	3
	計					17	13	25	38	2.2	13	25	38	4	11	15	2.5	4	11	15
理 学 部	数 学 学 科					8	11	2	13	1.6	11	2	13	7	1	8	1.6	7	1	8
	物 理 学 科					8	7	3	10	1.3	7	3	10	2	2	4	2.5	2	2	4
	化 学 学 科					7	6	2	8	1.1	6	2	8	3	1	4	2.0	3	1	4
	地 球 科 学 科					3	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0	0
	計					26	24	7	31	1.2	24	7	31	12	4	16	1.9	12	4	16
農 学 部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース				7	2	1	3	0.4	2	1	3	1	1	2	1.5	1	1	2
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース				7	3	6	9	1.3	3	6	9	2	3	5	1.8	2	3	5
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース				5	3	0	3	0.6	3	0	3	3	0	3	1.0	3	0	3
	計					19	8	7	15	0.8	8	7	15	6	4	10	1.5	6	4	10
合 計						131	97	147	244	1.9	93	141	234	37	62	99	2.4	37	62	99

愛媛大学入試情報サービス

本学では、入学試験に関する情報を、ホームページ及びスマートフォン・携帯電話サイトで提供します。

なお、自然災害等の発生による試験日程、試験会場の変更等が生じた場合には、「緊急時のお知らせ」として提供することがありますので、ご参照願います。

◆ ホームページ

本学のホームページでは、「入試情報」の中で、成績開示や各入試の情報等を提供しています。

愛媛大学 <https://www.ehime-u.ac.jp>

入試情報 <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/>

学生募集要項ダウンロード <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>



《提供する入試情報》

提 供 す る 入 試 情 報	提 供 時 期
推薦入試学生募集要項 社会人入試学生募集要項	令和元年9月中旬～
一般入試学生募集要項	令和元年11月上旬～
大学入試センター試験受験の案内	令和元年12月中旬～
一般入試の出願状況	令和2年1月末～
一般入試合格状況、入学手続の案内	令和2年3月上旬～
追加合格（一般入試）及び欠員補充第2次募集の有無	令和2年3月28日～

（注）提供する入試情報は、変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛媛大学ホームページの他、以下のサイトからでも本学に関する情報を閲覧できます。

「マナビジョン」

URL <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/1410/>



「がんばれ国立大学受験生!!」

URL <http://daigakujc.jp/ehime-u/>



